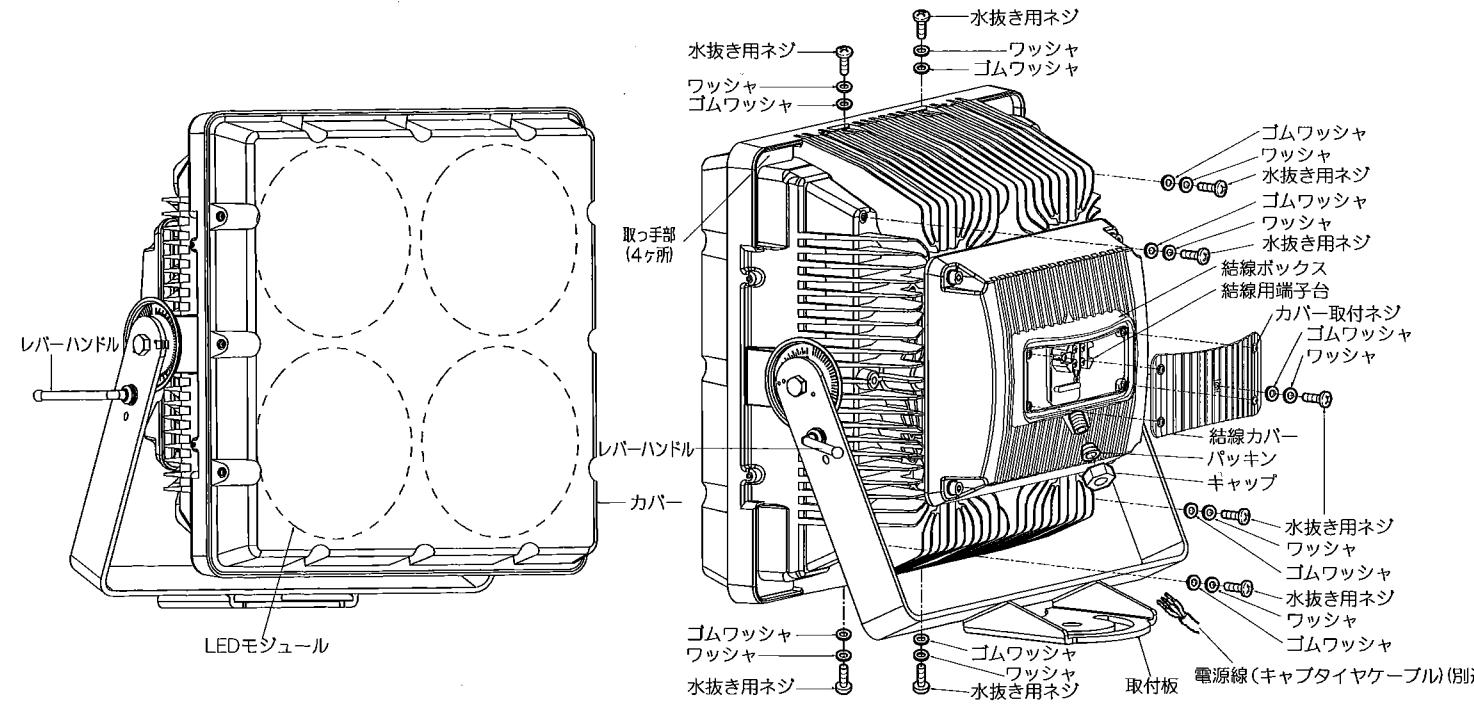


[型番] ERS4097S, ERS4098S, ERS4099S, ERS4100S, ERS4101S, ERS4102S, ERS4103S, ERS4104S, ERS4105S, ERS4106S, ERS4107S, ERS4108S, ERS4109S, ERS4110S, ERS4111S, ERS4112S, ERS4113S, ERS4114S, ERS4115S, ERS4116S, ERS4117S, ERS4118S

### ◆各部の名称



### ◆仕様

区分	型番	ランプ色	配光	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力		
37000 タイプ	ERS4097S	昼白色タイプ	狭角	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	3802mA	372.6W		
	ERS4098S	ナチュラルホワイトタイプ				200V	1894mA	359.8W		
	ERS4099S	昼白色タイプ	中角			242V	1648mA	359.0W		
	ERS4100S	ナチュラルホワイトタイプ				100V	3035mA	297.4W		
	ERS4101S	昼白色タイプ	広角			200V	1528mA	290.3W		
	ERS4102S	ナチュラルホワイトタイプ				242V	1330mA	289.7W		
	ERS4103S	昼白色タイプ	拡散			100V	1829mA	179.2W		
	ERS4104S	ナチュラルホワイトタイプ				200V	914mA	173.6W		
	ERS4105S	昼白色タイプ				242V	795mA	173.2W		
30000 タイプ	ERS4106S	ナチュラルホワイトタイプ	入射角 120°			100V	1829mA	179.2W		
	ERS4107S	昼白色タイプ				200V	914mA	173.6W		
	ERS4108S	ナチュラルホワイトタイプ				242V	795mA	173.2W		
	ERS4109S	昼白色タイプ				100V	1829mA	179.2W		
	ERS4110S	ナチュラルホワイトタイプ				200V	914mA	173.6W		
	ERS4111S	昼白色タイプ				242V	795mA	173.2W		
	ERS4112S	ナチュラルホワイトタイプ				100V	1829mA	179.2W		
	ERS4113S	昼白色タイプ				200V	914mA	173.6W		
	ERS4114S	ナチュラルホワイトタイプ				242V	795mA	173.2W		
15000 タイプ	ERS4115S	昼白色タイプ	超狭角			100V	1829mA	179.2W		
	ERS4116S	ナチュラルホワイトタイプ				200V	914mA	173.6W		

△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

### ■清掃方法について

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

●中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

●シンナー・ベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

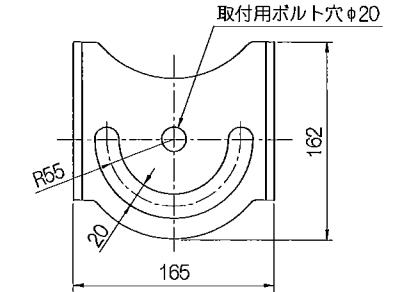
### ◆使用上のご注意

- LED光源を直視しないでください。
- 前面カバーが破損した場合、必ず器具交換を行ってください。
- △ 風速60m/sを超える場所では使用しないでください。落下の原因になります。

### ◆LED光源について

- LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- LEDモジュールの交換はできません。

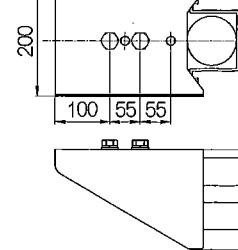
### ◆取付寸法



●RL-804N(電柱用取付バンド: 別売)  
適合電柱径 ø190~ø350

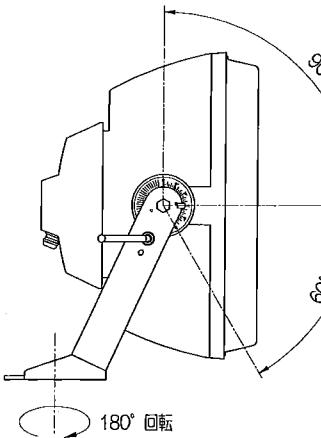


●RL-834N(電柱用取付金具: 別売)  
適合電柱径 ø101.6, □100



●RL-835N(ポールヘッド2灯用取付金具: 別売)  
適合ポール径 ø89.1

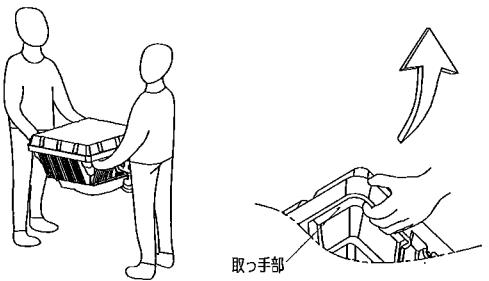
### ◆可動範囲



△ 指定範囲以外可動させないでください。破損・落下・感電の原因となります。

### ◆取付方法

- 器具を梱包から取り出してください。



- 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

△ 感電の原因となります。

- 器具重量に耐える様、取付面の強度を確保してください。

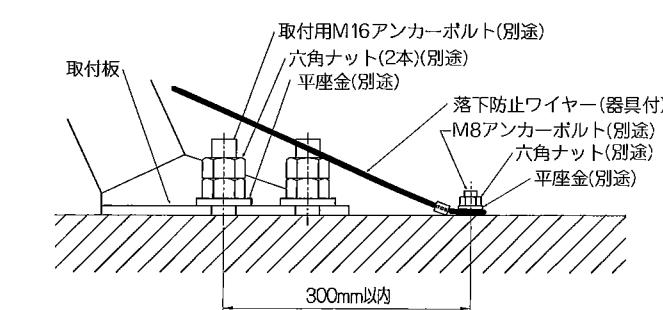
△ 取付部の強度が不十分な場合、器具落・破損等の原因となります。

△ この商品は重量物です。運搬や設置するときは、2人以上で持ち運びしてください。持ち運びには器具の取っ手部を利用してください。

- 器具を取付けてください。

#### ■ 床へ取付する場合

- 取付用M16アンカーボルト、六角ナット、平座金(ステンレス製)は別途ご用意ください。
- 指定の位置にアンカーボルトを施工してください。
- 取付板の取付穴にアンカーボルトを通して、平座金、六角ナットで確実に締め付け取付けてください。
- 落下防止ワイヤーをM8アンカーボルトに通し、平座金、六角ナットで確実に締め付け取付けてください。

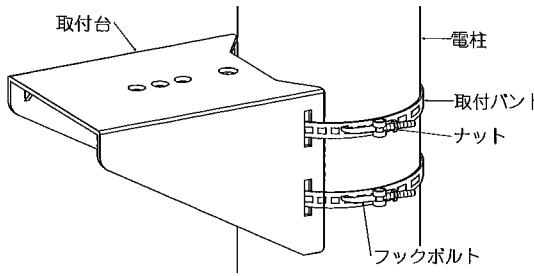


△ 取付けが不十分な場合、器具落・破損等の原因となります。

### ■ RL-834Nの場合

<適合電柱径Φ190～Φ350の場合>

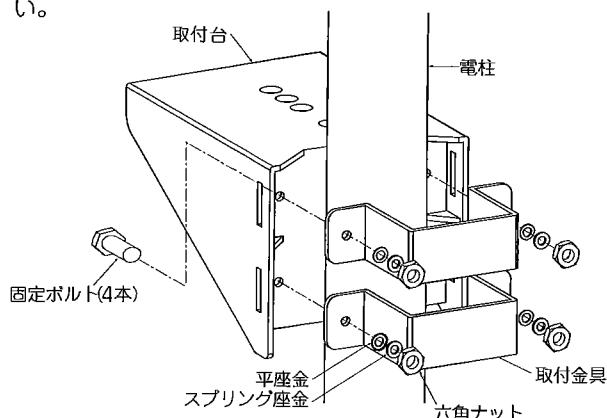
- 取付台に別売の電柱用取付バンド(RL-804N)(2本)を取付けてください。
- 取付バンドを電球に巻き付け、フックボルトを取付バンドの穴に引っ掛けてナットを確実に締め付けてください。



△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

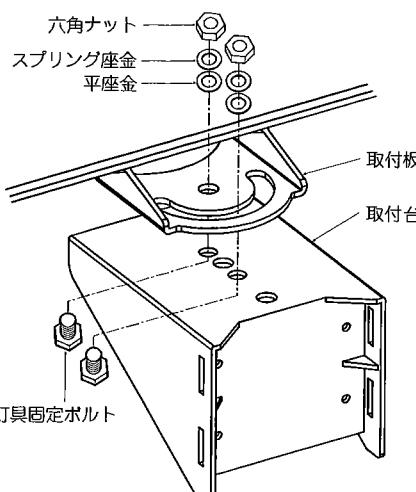
<適合電柱径Φ101.6の場合>

- 取付台に取付金具を取り付けてください。
- 取付金具(2本)と取付台を固定ボルトに通し、平座金、スプリング座金、六角ナットで確実に締め付け取付けてください。



△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

- 取付台と取付板を灯具固定ボルトに通し、スプリング座金、平座金、六角ナットで確実に締め付け取付けてください。

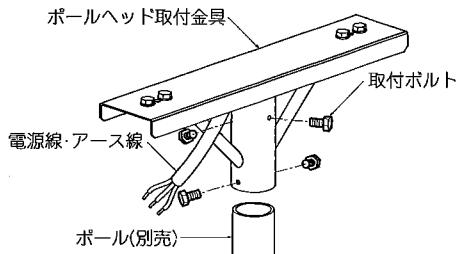


△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

### ■ RL-835Nの場合

<適合ポール径Φ89.1の場合>

- 別売のポールヘッド2灯用取付金具(RL-835N)内に電源線、アース線を引き込んでから、ポールヘッドをポール(別売)に合わせ、取付ボルト(4本)で確実に取付けてください。

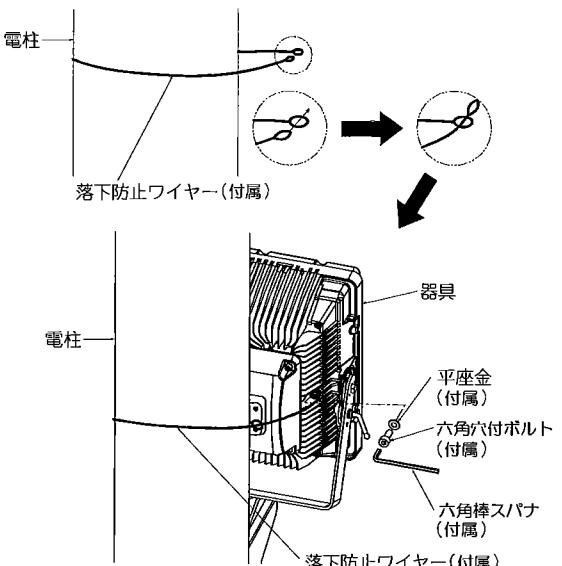


△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

- 落下防止ワイヤーを取付けてください。

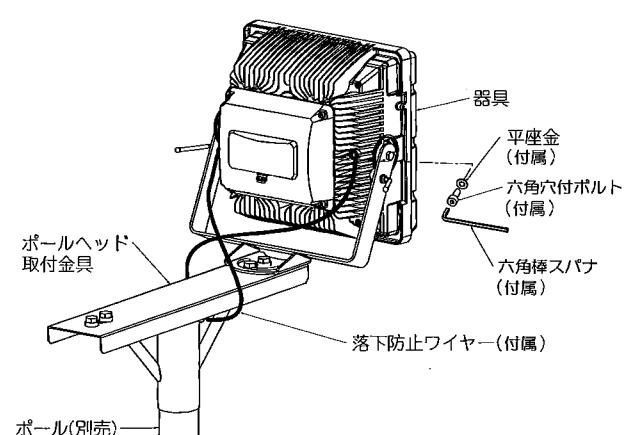
#### a.電柱の場合

落下防止ワイヤーを電柱に巻きつけて、ワイヤーの片側を反対側の穴に通してください。六角穴付ボルトを平座金、落下防止ワイヤーの穴に通し、付属の六角棒スパナで確実に本体に締め付けてください。(下図参照)



#### b.ポールヘッド取付金具の場合

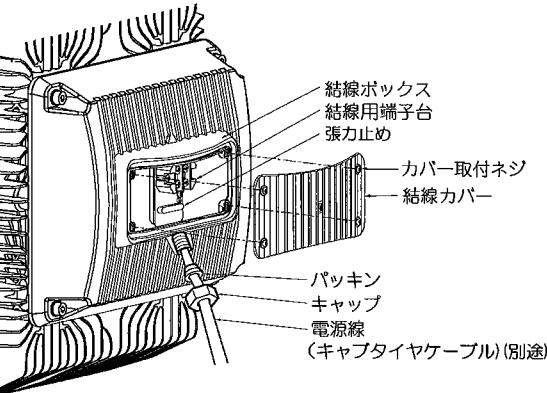
落下防止ワイヤーをポールヘッド取付金具に巻きつけて、(本体両側とも)六角穴付ボルトを平座金、ワイヤーの穴に通し、付属の六角棒スパナで確実に本体に締め付けてください。(下図参照)



△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

5. カバー取付ネジ(4個)をゆるめ、カバーを結線ボックスからはずしてください。

6. キャップ、パッキンをはずし、電源線をキャップ、パッキン、結線ボックスに通し、キャップを確実に締め付け固定してください。電源線(三芯)のキャブタイヤケーブルを張力止めで固定してください。



△ 締め付けが不完全ですと、漏水による漏電・器具故障の原因となります。

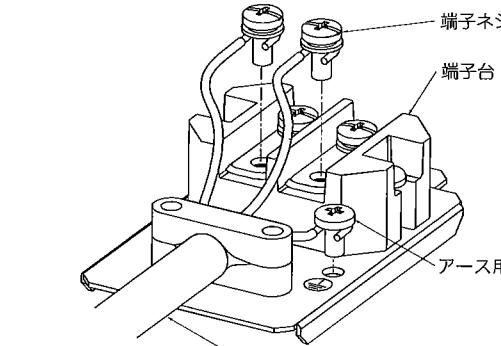
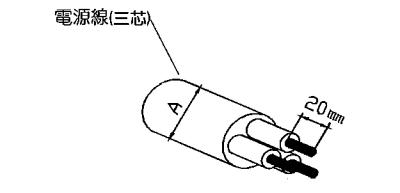
7. 電源線を端子台に接続してください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

※100Vで使用の場合でもD種接地工事を行ってください。

- 電線はストリップゲージ長20mmにむいてください。
- 電源線を端子ネジに巻き付けてから、端子台に確実に締めてください。

- アース線はD種接地工事を行ってください。

※電源線は三芯仕様、外径(下図A寸法)はΦ8～Φ12mm、芯線は1.25mm<sup>2</sup>以上のキャブタイヤケーブルを使用してください。

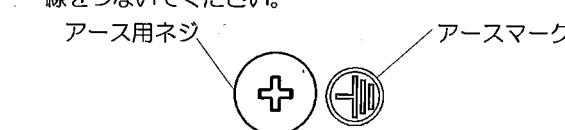


△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

△ 指定の電源線を必ず使用してください漏電・感電・器具故障の原因となります。

※D種接地工事について  
アースマーク(下図)が付けられている箇所のネジにアース線をつないでください。



8. カバーを結線ボックスに合わせて、カバー取付ネジ(4個)で確実に取付けてください。

△ 取付けが不完全ですと、漏水による漏電・器具故障の原因となります。

9. 水抜き用ネジ(1個)、ワッシャ(1枚)、ゴムワッシャ(1枚)を取り外して水抜き穴を確保してください。

※水抜き穴は、本体に9ヶ所あります。取付方向や照射位置の調節角度より、最下部の水抜き穴を確保してください。

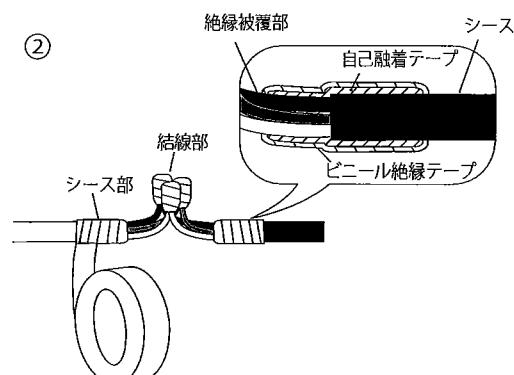
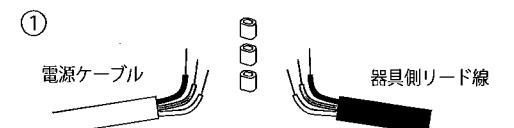
△ 水抜き穴を必ず確保してください。漏電・感電・器具故障の原因になります。

### ◆ 結線時のご注意

1. 電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。

結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線内を伝わる毛細管現象により器具内部に水が侵入する恐れがあります。

※結線部に直接水がかからないように防水BOX内の施工をお願い申し上げます。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。



●シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。

●自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめて巻いてください。

△接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

△ 指定の電源線を必ず使用してください漏電・感電・器具故障の原因となります。

### ◆ 照射角度の調整

1. 照射角度の調整は、表面図の取っ手部で器具をしっかりと支えながらハンドル(2箇所)を緩め、ゆっくりと器具の照射角度に合わせてください。しっかりと支えていない場合、器具が急に回転し破損、けがの原因となります。

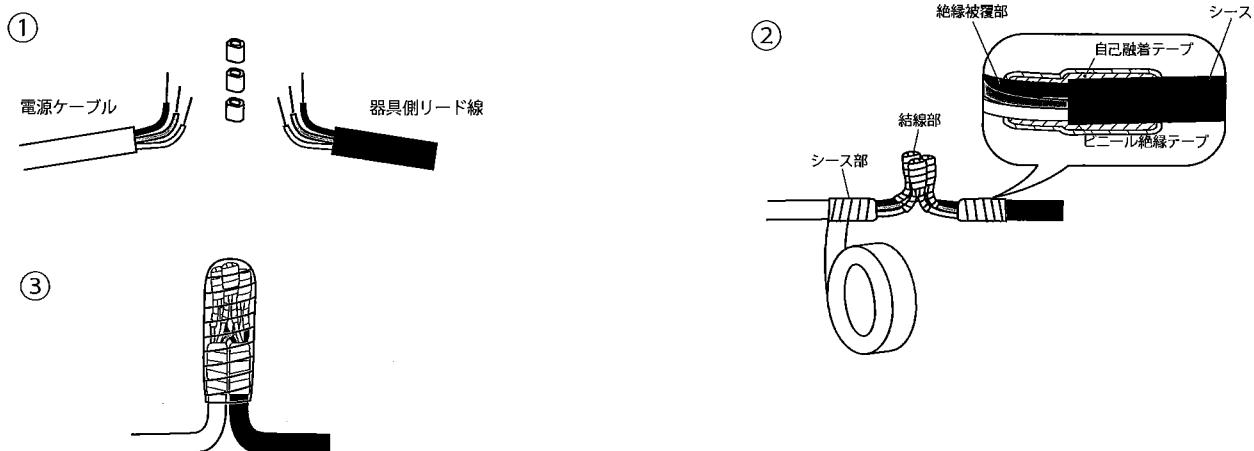
2. 照射角度調整後、ハンドル(2箇所)をしっかりと締付けてください。

△ 締付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因となることがあります。

3. 照準器による照射角度の調整をご希望の場合は、最寄の弊社営業所までお問い合わせください。

## ◆ 結線時のご注意

1. 電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。  
 結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線内を伝わる毛細管現象により器具内部に水が侵入する恐れがあります。  
 ※結線部に直接水がかからないように防水BOX内の施工をお願い申し上げます。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。



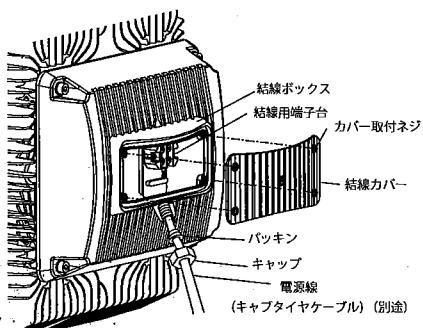
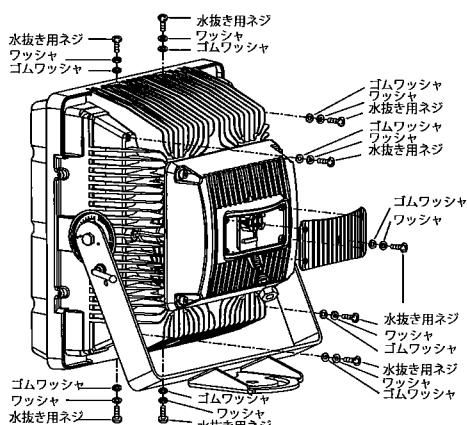
- シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。
- 自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめて巻いてください。
- 電源ケーブルからの水の侵入を防ぐため、絶縁被覆部が見えなくなるまでテープで防水処理をしてください。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

2. 水抜き用ネジ（1個）、ワッシャ（1枚）、ゴムワッシャ（1枚）を取り外して水抜き穴を確保してください。

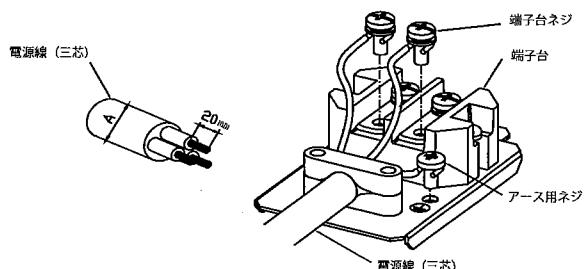
※水抜き穴は本体に9ヶ所あります。取付方向や照射位置の調節角度より、最下部の水抜き穴を確保してください。



△ 水抜き穴を必ず確保してください。漏電・感電・器具故障の原因になります。

3. 電源線を端子台に接続してください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

- 電線はストリップゲージ長20mmにむいてください。
  - 電源線を端子ネジに巻き付けてから、端子台に確実に締めてください。
  - アース線はD種接地工事を行ってください。
- ※電源線は三芯仕様、外径（下図A寸法）は $\phi 8\sim\phi 12mm$ 、芯線は1.25mm<sup>2</sup>以上のキャブタイヤケーブルを使用してください。



△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。